平成 24 年 11 月発行　　第 12 号

国臨協関信支部茨城地区会
発行責任者　海原　桂一（霞ヶ浦）
編　　集　岡村　治　（霞ヶ浦）
　　塚原　忠　（茨城東）

新人紹介

霞ヶ浦医療センター　　岡村　治

平成 24 年 4 月 1 日付で国立病院機構高崎総合医療センターより赴任して参りました岡村治（おかむら　おさむ）です。

現国立病院機構西埼玉中央病院に賃金職員として勤務して以来、昇任・配置換を経て 6 施設目となりますが、霞ヶ浦医療センターは平成 18 年 4 月から 2 年間勤務させていただき、今回 2 度目の赴任になります。そのせいか「茨城県出身ですか？」と聞かれることがありますが、出身は長野県千曲市です。

3 月下旬に引越しのため高崎から土浦へ。昨年の震災を乗り越え、以前と変わらぬ佇まいの施設を見て安堵しました。今回は施設敷地内にある 5 階建て官舎の 5 階に入居。もちろんエレベーターはありません、結構良い運動になります。前回の赴任時から単身赴任が始まり 7 年目に突入！ 最近では『亭主元気で留守が良い』を絵に描いたような我が家になっているような…。

自宅までは約 270km、何かと都合が良いので自動車で行き来することが多く、多数ある高速道路のパーキングエリアで御当地物を食べることがささやかな楽しみになっています。また、本年度の関信支部学会地区会コーナーのポスターを見て、茨城県内に観光名所がたくさんある事を知り、帰宅しない週末の楽しみとして是非訪れたいと思います（ぶらり一人旅？）。

霞ヶ浦医療センターはここ数年患者減少により苦しい状況が続いていましたが、筑波大学、土浦市、独立行政法人国立病院機構による寄附講座が設置され医師の派遣・機器整備が進み患者数も増加傾向にあります。このタイミングで副臨床検査技師長の職に就き、気負いはありませんが自分の力量を考えると若干のプレッシャーは…あります。赴任当初は暗中模索の日々でしたが、スタッフの協力のもと半年が過ぎました。微力ではありますが検査科が上昇気流に乗れるように努めたいと思います。また、地区会会長の海原技師長を助け、地区会活動にも力を注いでまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

霞ヶ浦医療センター　　原　正敏

初めまして。今年の４月１日付けで霞ヶ浦医療センターに採用になりました原 正敏（はら まさとし）と申します。昨年の３月に大学を卒業し、１年間東京都小平市にある国立精神・神経医療研究センターで非常勤職員として働いておりました。

出身は兵庫県姫路市で、皆様が恐らく知っていらっしゃる世界文化遺産の姫路城（別名：白鷺城）が有名です。現在は大天守保存修理工事実施中のため姫路城が素屋根で覆われている状態で本来の姿は見られません。しかし普段では見られない大天守上層部部分の外観や修理工事の様子を見学できるようです。姫路へ行かれる機会があれば是非観覧してきて下さい。小・中・高時代は野球部に所属しており、大学時代はフットサルサークルに所属し体をハードに動かすことが好きでした。現在は昨年から始めたサイクリングとトレッキングを趣味としています。サイクリングバイクで見知らない様々な場所を走って新しい発見があったり、また自然豊かな山にカメラを持って登ったり、休日も充実した時間を過ごしています。また、高校の修学旅行で行った屋久島へトレッキングしに行きたいと密かに考えているところです。高校卒業と共に関東へ上京し、早くも茨城県は住む場所として４つ目の都県です。新生活を始めて半年が過ぎ、茨城県の多々ある観光スポットのうちの日本三名園の一つである偕楽園へはまだ行ったことがないのでカメラを持って紅葉時期に行く予定です。

前施設から引き続き検体検査（一般・血液）・採血業務を担当しております。仕事の方法や内容の違い、また輸血業務に関して未経験に近かったので現在も戸惑うことが日々続いていますが、新しい知識を吸収できていると感じています。最後になりましたが、海原技師長をはじめ検査科の皆様の温かい支えがある中で検査業務に携えることに感謝しております。知識、技術ともに未熟でありますが、少しでも患者様のお役に立つように頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いします。

霞ヶ浦医療センター　　玉木　佑介

初めまして。４月１日付けで霞ヶ浦医療センターに採用になりました玉木　佑介（たまき　ゆうすけ）と申します。私はこの春に国家試験に合格し、専門学校を卒業したばかりの新米臨床検査技師です。それ以前は、サラリーマンや派遣社員といった仕事を経験してきましたが、人の役に立ち、地域や社会に貢献できる仕事がしたいという思いから医療従事者になりたいと思いました。検査業務によって診療を支える、縁の下の力持ちである臨床検査技師という職業は、性格的に自分に向いているのではないかと思っています。

出身は新潟県です。今回縁あって茨城県の土浦市に配属になり、生まれて初めて茨城県にやってまいりました。まったく土地勘のない場所に単身でやってくるということで、不安もありましたが徐々に慣れてきました。日に日に行動範囲が広がるにつれて、住み易い良い場所だなと実感しています。これからも、もっと色々な場所に出向いて、茨城県の良いところを見つけられたらと思っています。

スポーツは学生時代に剣道部に所属しており、二段を持っています。しかし、それ以降はあまり運動するということをしてこなかったので、完全になまってしまいまし

た。霞ヶ浦医療センターでは職員のフットサルチームがあり、私も誘いを受けこの機会にフットサルを始めてみました。始めたばかりの頃は、久しぶりにスポーツをやるということで悲惨な有様でしたが、回を重ねるにつれてだんだんと体力も戻ってきたのではないかと実感できています。また、せっかく独り身で自由に過ごせる環境であるので、他にも何か趣味をみつけて有意義に日々を過ごせれば良いと思っています。

仕事の面では、まだまだ勉強不足ですので、早く一人前になれるように頑張っていきたいと思っています。様々な研修会にも参加して知識を広げていけたらと思っていますので、見かけた際にはお気軽にお声をかけてください。

今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

水戸医療センター　　町田　和基

平成 24 年 4 月 1 日付けで水戸医療センターに採用になりました、町田　和基（まちだかずき）です。西武学園医学技術専門学校を卒業してから 2 年間は国立がん研究センター中央病院で非常勤職員として勤務していました。国立がん研究センター中央病院では血液検査を担当していましたが、現在は免疫・血清検査をメインに検体系を担当しています。血液以外の分野を担当するのが初めてだったので、何もできず自分の勉強不足、経験不足を痛感しました。毎日が大変ですが多くの事を経験できているので充実しています。

出身は長野県の千曲市です。緑が多く、田畑が広がり、周囲を山に囲まれた穏やかな土地です。初めて水戸に来た時、少し地元の雰囲気に似ているので初めてという感じがせず、親近感がわきました。

今までは趣味と言えることが無かったのですが、最近は先輩方とバス釣りに行ったりし、プライベートも充実しています。まだ下手なので近くの池などで釣っているだけですが、いつか霞ヶ浦で大物を釣るのが夢です。

最後になりましたが、中島技師長をはじめ検査科の皆様の温かい支えがあり、恵まれた環境で業務に取り組むことができとても感謝しています。検体検査業務を中心に採血業務、緊急検査業務を行っていますが、少しでも多くの仕事をこなせるよう頑張ってまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

茨城東病院　　小池　勝人

茨城地区会の皆様初めまして。4 月 1 日付けで茨城東病院に採用されました、小池　勝人（こいけ　かつひと）と申します。出身は、東京都です。高校卒業まで、自宅から徒歩 15 分圏内の恵まれた環境で、学生生活を過ごしてきました。

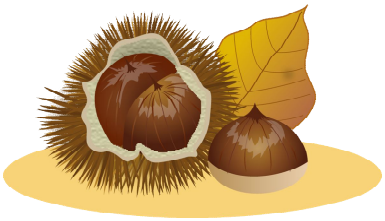
特技は水泳です。幼稚園から中学校 1 年生くらいまで、約 7 年間スイミングスクールに通っていました。好きな食べ物は、きつねうどん、カレーです。苦手な食べ物は、キウイフルーツです。

学生時代の部活についてです。高校では、剣道部に所属していました。夏の合宿では、厳しい練習と夏の暑さでつらい思いをしましたが、部員みんなで楽しく過ごせた事が、今でもいい思い出として胸に残っています。今思えば、剣道部の厳しい練習のおかげで忍耐力がつき、私にとってプラスになった経験でした。専門学校を卒業後は、独立行政法人国立成育医療研究センターの非常勤

職員として、約 5 年間細菌検査業務に従事してきました。

続いて私の趣味についてです。趣味は読書です。1 年前に、視野を広げたいと思い始めました。私は自分の興味のある分野以外の事には関心がない為、今より視野が狭かったと思います。図書館に通い、読書を始めましたが、普段通い慣れていないせいか、最初は緊張しました。読んだ本から色々と情報が入ってくると、視野が広がった気がして、図書館通いも段々と楽しくなり、苦痛では無くなりました。これからも、気分転換を兼ね、図書館通いを続けていきたいと思います。

採用され半年がたち、ようやく仕事にも少しずつ慣れてきました。仕事に慣れてきたからといって、慢心せず仕事に真面目に打ち込んでいこうと思います。皆様、今後とも宜しくお願い致します。



趣味お披露目

『茨城ラーメン探訪紀』

霞ヶ浦医療センター　　原田　哲也

私が茨城県に住むようになって早 8 年目になります。大学を卒業し新卒でフレッシュであった 22 歳の若者は今や霞病検査科で一番古株の 30 歳のおっさんになってしまいました。おかげさまで茨城ライフを満喫することができ、特にラーメンに関しましては、かなりの情報と体脂肪を蓄積させていただきました。茨城県はここ最近レベルの高いラーメン屋が増え、全国ランキング上位に何件も入っているラーメン天国なのであります。特につくばへの出店ラッシュでつくばは激戦区となっており県外からもたくさんの人がやってきます。今回はつくばを中心とした県南のラーメンをご紹介したいと思います。

まずは喜元門です。もともと石岡に本店があったのですが今年から研究学園に移転しました。2~3 年前につくば等に支店ができて、行き易くなりました。喜元門はあっさりから濃厚系、魚介系から動物系までバランスよくメニューを揃えています。好みもありますが私は芳醇煮干の醤油が好きです。えぐみを抑えた、煮干の旨みたっぷりのあっさりスープにぱっつん系低加水中細麺がマッチします。チャーシューも流行の選べるタイプで低温、バラ、直火、炭火と選べます。たくさんメニューがありどれもおいしいので飽きないお店です。続いてハリケンラーメンです。ここもあっさり魚出、濃厚豚骨魚介、鶏白湯まであり基本的なメニューはどれもおいしいのですが、特徴はフレンチ出身の店主が作る、期間限定メニューです。昼で売り切れてしまうのでなかなか敷居が高いのですが、おいしそうな限定の時はシャッターズ（開店前に並ぶこと）でありついていました。続いて、蒼ＡＯＩです。濃厚豚骨味噌が基本で平打ち麺です。まぜそばも人気があり濃厚系の店と思いきや、あっさりの軍鶏そばや秋限定の秋刀魚を使った秋味は非常に完成度が高いです。そして土浦では有名店小櫻です。ここは昔からあり近いこともあって一番通ったと思います。特製醤油、海老香油魚醤、辛つけがおすすめです。ただ最近は店主がやらなくなって、限定メニューや塩 3 号も消えて

しまい、基本メニューの味も落ちたのでちょっと残念です。そして一番忘れてはいけないのは茨城ご当地麺のスタミナラーメンです。県南ではがむしゃ一軒だけだったのですが、最近はがむしゃの支店の馬しゃ屋がつくばにオープンしました。レバー、キャベツ、かぼちゃなどの具を甘辛い餡で仕上げた餡かけラーメンです。スープの上に餡をのせるホットもいいですが、私は冷たくしめたもちもち麺に熱々の餡をかけるスタミナ冷やしが好きです。はまります。他にも中華蕎麦イチカワや活龍グループ、華丸などありますが尺が足りないのでこのへんで終わらせていただきます。詳しい情報はラーメンデータベース茨城県版で見られます。ぜひ県南にお越しの際はおいしいラーメンを食べてみてください。

『サーフィンと私』

水戸医療センター　　中谷　穏

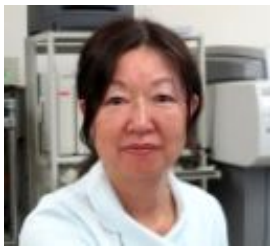
私がサーフィンを始めたのは、20 歳の時である。きっかけは、サーフィンしていると格好良いとか女の子にもてたいとか不純な動機からだった。当初、周りにサーフィンをしている友達がいなかったので、道具を揃えるためメッカである湘南へ一人で向かった。そこでサーフショップを探し、店員の言う通り一式揃えた。夏までに様になるよう、12 月から始めた。もちろん湘南(鵠沼海岸)デビュー＋電車通い！はじめ、サーフショップの店員によるスクールとやらを受けた。基本中の基本となるパドリング(ボードに腹這いになってこぐこと)、これが予想以上に難しい。海の上なので、かなりバランスが取りにくいのだ。続いて、テイクオフ(ボードの上に乗る動作)。これもまたかなり難しい。やっとボードの上に立てるようになったのは数ヶ月たってからだった。そうこうしている間に夏が来てしまった。想像どおり、格好いいとはほど遠かった。週 1 でしか海に行けなかったため、筋肉痛になっては戻りの繰り返し。そのうち夜の男に変身！！当然、海との距離も離れサーフィン休止。2ー3 年はサーフィンをしない時期があった。あるとき近所にサーフショップを発見。そこの店員さんと仲良くなって再びサーフィンを開始した。思った通り一からやり直し。幸い車もあったので、休みの日となれば海へ。海ではうまいやつがご茶万といた。悔しくて筋トレからイメトレ、うまくなるためにあらゆることをした。

やがて毎回一緒に行く連れができた。湘南は波のサイズが小さい日が多いので、場所を千葉に移した。休みの日はそいつとサーフ。波のコンディションがいい日もあれば悪い日もある。ひどい時は海に入れずご飯を食べて帰ったときもあった。そのうち徐々に上達し、サーフィンが楽しいと思えてきた。夏休みはハワイへ行ってサーフィンすることもあった。ハワイは、日本とは波質が違う。一つの波に対する水の量が多くサイズもでかい。3 階から飛び降りるほどの波に乗るときは、ハワイアンに『kamikaze banzai』(乗れー)とからかわれたこともあった(日本のイメージは特攻隊か)。乗る瞬間、アドレナリン全快。もはやスリルと興奮しかない。躊躇して巻かれたときには、洗濯機の中の衣類状態。でも楽しい(笑)。慣れてくると大して怖くなくなる。慣れって恐ろしいですね。帰国する前の日あたりが一番調子が上がってくる。色も黒くなり現地の人になった気分。当然帰りたくなくなる。

今は、サーフィンが自分のエネルゲンになっているような気がします。時間を見つけてはサーフィンしている今日この頃です。みなさんも何か趣味を見つけてエネルギーを蓄えてはいかがですか。

『私の好きな南の島』

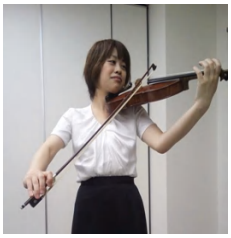
水戸医療センター　　岡村　悦子



タヒチと聞いて何を思い浮かべますか？透明で温かいラグーン、パウダーのようにきめの細かな白い砂浜、そしてココヤシの木などでしょうか。正式名称はフランス領ポリネシア、南太平洋に浮かぶ5つの群島118の島々から成るフランスの海外自治領土です。この夏休み、ソシエテ諸島の首都パペーテのある活気溢れるタヒチ島へと出かけました。時差が19時間あるため、夕方4時に出発し約11時間のフライトで、ファア国際空港には同日朝8時にタヒチアン音楽でのお迎えを受けて到着です。夜には早速タヒチ料理とタヒチアンダンスショーを楽しみました。波の音をBGMに、ヤシの木陰でハンモックに揺られ、読書やお昼寝と優雅な時を過ごしました。島を一周してみました。サーフィンの世界大会が開催されるとかで、たくさんあるサーフスポットでは、大勢のサーファーで賑わっていました。ゴーギャン博物館では、絵はレプリカですが、彫刻やデッサンはオリジナル作品が見られます。また、18世紀にキャプテンクックが金星の観測をしたヴィーナス岬、他にもパワースポットや洞窟、タヒチ博物館、植物園等5~6時間のドライブです。残るはフレンチポリネシア随一の都会パペーテ探検です。市バスで出かけました。乗車場はあるけれど、降車は降りたい所でブザーを押して止めてもらいます。まずは、タヒチ観光局インフォメーションセンターでマップ、パンフレットを手に入れて、ローカルパワーあふれるマルシェ（市場）へ。何でも揃っています。食材、お惣菜、フルーツ、日用雑貨に民芸品。もちろんお土産も。外にもパレオ屋さん、ドレス屋さんがいっぱい。何より、パンが美味しそうに並んでいます。さすがフランス、パンとスイーツはどこで食べてもハズレなし！次はランドマークのカテドラル（教会）へ。赤い屋根と黄色い外観が目を引きます。ヒナノショップ、ロクシタンと有名所をのぞいて真珠博物館へ。1960年代にミキモトパールによって養殖の技術が伝えられるまでは、黒蝶貝のほとんどはYシャツのボタン等に加工されるだけだったそうで、たくさんのボタンで飾られた、当時の素晴らしい衣装も展示されています。何百何千の大粒のブラックパールで作られたのれんにも目を奪われます。カフェで一休み。ここまでは順調でしたが、帰りに乗ったバスで、私の席の近くにはブザーが無い！降りられないかも・・・。周りの景色からホテルは近そうです。フランス語もタヒチ語もわからない私は、夢中で運転手さんに「〇〇ホテルプリーズ」何とバスはホテルに横付です。マルルー（ありがとう）と精一杯大きな声で一言。明日は、ポリネシアンスパで癒しのひと時を過ごしましょうか、いよいよドリームバケーションも終了間近です。来週からはまた忙しい毎日が始まります。

『Super　Orchestra』

茨城東病院　　磯部　祥子



茨城東病院で生理検査を担当している磯部と申します。今回、趣味をテーマとした原稿を書く機会を頂いたので、バイオリンについて紹介します。

私は 5 歳頃からバイオリンを始めて、個人レッスンの形でやってきましたが、大学からオケ（オーケストラ）に参加するようになりました。大学卒業後も指揮者の先生のご厚意で紹介して頂いたオケに入り、月に 2～3 回、東京で行われている練習に参加しています。アマチュアからプロまで色々な方が参加しているオケで、参加するたびにとても刺激になります。オーケストラを構成する主な楽器はバイオリンの他、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ホルン、トランペット、トロンボーン、フルート、クラリネット、オーボエ、ティンパニなど様々です。近代にならないと登場しない楽器もあり、オケを構成する楽器は作曲者の生きた時代によります。同じ曲でも楽器によって楽譜はまったく異なり、各パートが正確に楽譜を再現することでパズルのように音楽が組み合わさり、曲ができます。また、管・打楽器は基本的に 1 パート 1 人なのに対して、弦楽器は 1 パート 10 人程度います。大人数で同じパートを演奏するということは誰かが間違えた時にカバーできる利点もありますが、動きが揃わないと曲を滅茶苦茶にするという数の力による恐ろしい一面もあり、管楽器から「これだから弦は…」と、よく苦情を受けます。そのため、徹底した個人練習と動きを揃える協調性が必要です。特にバイオリンは曲の中で主役（メロディ）を任される場面も多いため、主張することも忘れてはいけないパートです。

オーケストラの魅力というのは、これら多様な楽器がまったく異なる音楽を演奏しながら 1 つの曲を作り上げていることです。色々な楽器がばらばらの動きをし、人によって癖のある奏法も見られたりします。

オケは目でも耳でも楽しめますので、機会があればぜひホールで生の演奏を聞いてみて下さい。

編集後記

今年の本誌は、5 人の新しい仲間のご紹介と会員の一部の方々から趣味・特技をご紹介いただきました。私も老後のボケ防止の為に何か趣味を作らないと・・・。

学会のポスター作成にあたり、数々の資料を提供して下さった会員の皆様、本当に感謝しております。結果は残念ではありましたが、茨城県の名所を再確認出来ました。

紅葉も始まり、山々が一段と美しくなって来たと思えば、寒い冬がやって来ます。会員の皆様、御身体には十分気を付け仕事に、遊びに頑張りましょう。

（記：塚原）